



デスクトップクライアント セットアップガイド

ArcSuite 4.0

はじめに

このたびは富士フィルムビジネスイノベーションのArcSuite®をご利用いただき、まことにありがとうございます。

一般に、企業活動では、各業務に関する情報はさまざまな形態のドキュメントとして存在しています。ここでいうドキュメントとは、紙に書かれた文書だけを示す狭義のものではありません。紙はもちろんのこと、ホワイトボードに書かれた文字や図表、プロジェクターやテレビに映し出された映像などを含む広義なものを指します。

ドキュメントは一般に、ひとりの手で作成されるものではなく、複数の人の意見交換や討議を経て作成されます。単純な作業や複雑な計算はコンピューターに委ねられ、あらゆる分野でさまざまなソリューションが展開されていますが、ドキュメントの作成では一般に人が中心なのです。

ArcSuiteは、「ドキュメント」に着目して「人」と「人」をつなぐ、「ドキュメント指向」のソリューション・パッケージです。ArcSuiteをご利用いただくことによって、さまざまなコンピューターシステムを統合したうえでのドキュメントの共有や管理が可能になります。

お使いの商品構成によって、次の機能が標準で提供されないことがあります。

コラボスペース、ドキュメントレビューオプション、ワークフロー、分類ビュー、関連文書検索サービス、原本性保証オプション、キャプチャリングサービス、統合検索サービス、オンラインバックアップオプション、ドキュメント一括操作ツール、連携フォルダ for DocuWorks、連携オプション for Working Folder

本書の内容は、Microsoft Windows Operating System、およびWebブラウザの基本的な知識や操作方法を習得されているかたを対象として記述しています。

Active Directory、Excel、Microsoft、Visual C++、Windows、およびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- ・ 本書の編集、変更、または無断での転載はしないでください。
- ・ 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。

ArcSuite、およびDocuWorksは、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

著作権について

本ソフトウェア、およびバックアップのために複製されたソフトウェアに関する著作権等を含む一切の無体財産権は、弊社および弊社への供給者に帰属します。

(c) 2002-2021 FUJIFILM Business Innovation Corp.

マニュアル体系

ArcSuiteには、次のマニュアルおよびヘルプがあります。

マニュアルは、PDFファイルまたはヘルプの形式で提供しています。

主なマニュアルは、『ポータル画面のヘルプ』から参照できます。『ポータル画面のヘルプ』は、Webブラウザの操作画面にある【ヘルプ】から表示できます。

補足 お使いの商品構成によっては、提供されない機能の説明がマニュアルに含まれることがあります。

■ 管理者ユーザー向け

名称	概要
セットアップガイド	本製品全体のセットアップ方法について説明しています。
システム管理者ガイド	リソース管理サービスの概要、機能、管理操作を行うコマンドについて説明しています。また、本製品の運用に必要な管理作業について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理者ガイド	ドキュメント管理サービスの概要、機能、および管理操作を行うコマンドについて説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション デスクトップ版のヘルプ	サーバーで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション Web版のヘルプ	クライアントPCで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
オフラインバックアップ・リストア運用ガイド	オフラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
リソース管理アプリケーションのヘルプ	ユーザー、グループ、ユーザーロールの追加、およびライセンスの編集、検索について説明しています。
ログインサーバー管理アプリケーションのヘルプ	ログインサーバーでの認証モードの設定について説明しています。
メッセージ通知管理アプリケーションのヘルプ	メッセージ通知サーバーの設定、メッセージのプール管理、メッセージテンプレートの設定について説明しています。
ポータル管理アプリケーションのヘルプ	ユーザープロフィールに表示する項目の設定、お知らせの設定について説明しています。
ドキュメントスペース管理アプリケーションのヘルプ	属性テンプレートや表示する属性の設定、表示するボタンの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
表示アプリケーション管理ツールのヘルプ	表示アプリケーションのテンプレート、システム環境の設定について説明しています。
ログ管理アプリケーションのヘルプ	ログを表示する機能、ログを取得する機能、および保守情報を一括で取得する機能について説明しています。

名称	概要
監視ツールのヘルプ	ArcSuiteのコンポーネントにアクセスしているユーザー、データベースの状態、およびセッションの状態を監視する機能について説明しています。
ドキュメントスペースドキュメント操作URLリファレンスガイド	ドキュメントスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
オンラインバックアップ・リストア運用ガイド	オンラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
e-文書法対応 概要説明書	e-文書法対応の概要および原本性保証オプションの機能について説明しています。
コラボスペース管理アプリケーションのヘルプ	コラボスペースのメールの設定、ログの設定、およびタスクやメッセージの用語をカスタマイズする設定について説明しています。
ワークフロー管理アプリケーションのヘルプ	ワークフロー定義または起動テンプレートの作成者および公開者の設定、ログの設定、外部コマンドの設定について説明しています。
キャプチャリング管理アプリケーションのヘルプ	キャプチャリングサービスの監視キューに対する操作について説明しています。
統合検索サービス管理アプリケーションのヘルプ	統合検索サービスのリソースの設定、収集スケジュールの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
コラボスペースタスク操作URLリファレンスガイド	コラボスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
ワークフロー操作URLリファレンスガイド	ワークフローの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
Webサービスインターフェイスリファレンスガイド	ArcSuiteの機能にSOAPを使用して接続するAPIについて説明しています。
ドキュメント管理サービスSDKリファレンスガイド	ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
コラボスペースInterface Toolkitリファレンスガイド	コラボスペースのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
ワークフロー Interface Toolkitリファレンスガイド	ワークフローのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。

■ クライアントユーザー向け

名称	概要
ポータル画面のヘルプ	ポータル画面で、お気に入りの編集、ユーザープロフィールを変更する操作について説明しています。 Webブラウザの操作画面にある【ヘルプ】から参照してください。
アドレス帳のヘルプ	アドレス帳で、ユーザー、グループ、ユーザーロール、およびタスクを検索する操作について説明しています。
ドキュメントスペースのヘルプ	ドキュメントスペースで、登録、属性の変更、検索などのドキュメントを管理する機能の操作について説明しています。
表示アプリケーションのヘルプ	表示アプリケーションで、ブラウザーイメージ変換された画像を編集する操作、およびユーザー設定について説明しています。
検索条件式のヘルプ	ドキュメントスペースの詳細検索で、全文検索または属性検索の条件式をXMLで指定するときの記述方法について説明しています。

名称	概要
簡易操作のヘルプ	簡易操作画面でドキュメントを管理する機能の操作、および操作画面の設定方法について説明しています。
コラボスペースのヘルプ	コラボスペースで、タスクの作成、メッセージの登録、および検索などの操作について説明しています。
ワークフローのヘルプ	ワークフローで、ワークフロー定義の作成、公開および起動する操作、作業を実行する操作について説明しています。
ドキュメント一括操作ツール説明書	Microsoft Excelを使って、ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理する操作について説明しています。
デスクトップクライアント セットアップガイド (本書)	デスクトップクライアントのセットアップ方法について説明しています。
デスクトップクライアント 操作説明書	デスクトップクライアントで、ドキュメント管理サービスのフォルダやドキュメントにアクセスする操作方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorks セットアップガイド	連携フォルダ for DocuWorksのセットアップ方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorksのヘルプ (*1)	DocuWorks Deskで、ArcSuiteに登録されているドキュメントを操作する方法について説明しています。

* 1: 連携フォルダ for DocuWorks をインストールした DocuWorks Desk のヘルプから参照してください。

本書の使い方

本書は、ArcSuiteデスクトップクライアント（以降、「デスクトップクライアント」と表記します）のセットアップ方法について説明しています。

■ 本書の構成

本書は、次の章から構成されています。

◆ [第1部 デスクトップクライアントのセットアップ](#)

[1 デスクトップクライアントの概要](#)

デスクトップクライアントの概要について説明しています。

[2 動作環境](#)

デスクトップクライアントを接続するサーバー、およびデスクトップクライアントをインストールするクライアントPCの動作環境について説明しています。

[3 セットアップの流れ](#)

セットアップの流れについて説明しています。

[4 インストール](#)

デスクトップクライアントのインストール操作について説明しています。

[5 配布するためのデスクトップクライアントの共有設定](#)

Active Directoryサーバーから配布するための、デスクトップクライアントの共有設定について説明しています。

[6 アンインストール](#)

デスクトップクライアントのアンインストールの操作について説明しています。

◆ 第2部 Active Directory サーバーでの設定

1 Active Directory サーバーの概要

Active Directoryサーバーの概要、およびActive Directoryのグループポリシー機能を設定する流れについて説明しています。

2 インストーラー・共有設定ファイルなどの配布

インストーラー、アップデート、Hotfix、および共有設定ファイルを配布するための、Active Directoryのグループポリシー機能の設定について説明しています。

■ 本書の表記

・本書では、次の記号を使用しています。

< > キー	キーボードのキーを表します。 例：<Enter>キーを押します。
[]	画面に表示されるメニュー、ボタン、項目を表します。 例：[新規作成] をクリックします。
[]	同一マニュアル内の参照箇所を表します。 また、強調する用語やメッセージも表します。 例：「1 概要」 「名前が指定されていません。」と表示されます。
『 』	参照するマニュアルの名前を表します。 例：『システム管理者ガイド』
{ }	ユーザー名やサーバー名など、操作時に変わる値を表します。 例：[{ユーザー名}] をクリックします。
>	メニューやWebページの階層を表します。 例：[システムとセキュリティ] > [管理ツール]
注記	一般的な注意事項を表します。
補足	機能や操作に関する補足説明を表します。
参照	参照する事項があることを表します。
_____	参照先タイトルやページへのリンクがあることを表します。 例： 「1 概要」 (P.6)

- ・ Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。
- ・ パーソナルコンピューターを「PC」と表記しています。
- ・ マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューを「ショートカットメニュー」と表記しています。
- ・ デスクトップクライアントの画面に表示される項目は、設定によって異なります。本書の説明で使用している画面は、1つの例です。
- ・ お使いの環境によって、マニュアルに記載の画面と実際の画面が異なることがあります。
- ・ 特に表記がない場合の製品のバージョン番号は「4.0」です。

目次

第 1 部 デスクトップクライアントのセットアップ

1 デスクトップクライアントの概要

- 1.1 デスクトップクライアントについて 9
 - 1.1.1 Active Directory サーバーを使用していない環境の場合 9
 - 1.1.2 Active Directory サーバーを使用している環境の場合 10

2 動作環境

- 2.1 接続先サーバー 12
- 2.2 クライアント PC の動作環境 13
- 2.3 Microsoft .NET Framework 4.8 のインストール 14

3 セットアップの流れ

- 3.1 Active Directory サーバーを使用していない環境でのセットアップの流れ 16
- 3.2 Active Directory サーバーを使用している環境でのセットアップの流れ 17

4 インストール

- 4.1 デスクトップクライアントのインストール 19
 - 4.1.1 Active Directory サーバーを使用していない環境でのインストール 19
 - 4.1.2 Active Directory サーバーを使用している環境でのインストール 21

5 配布するためのデスクトップクライアントの共有設定

- 5.1 共有設定ファイルの作成 23

6 アンインストール

- 6.1 デスクトップクライアントのアンインストール 26

第 2 部 Active Directory サーバーでの設定

1 Active Directory サーバーの概要

- 1.1 Active Directory サーバーについて 28
 - 1.1.1 Active Directory サーバーの OS 28
- 1.2 設定の流れ 29

2 インストーラー・共有設定ファイルなどの配布

- 2.1 事前準備 31
 - 配布するファイルの入手先 31
 - 共有フォルダーの作成 32
- 2.2 グループポリシーオブジェクトの作成、編集 33
 - 2.2.1 インストーラーを配布する場合 33
 - 2.2.2 アップデート、Hotfix を配布する場合 34
 - 2.2.3 共有設定ファイルを配布する場合 35
 - 2.2.4 禁止操作を配布する場合 36
- 2.3 グループポリシーオブジェクトのドメインへのリンク 38

第1部 デスクトップクライアント のセットアップ

1 デスクトップクライアントの概要

この章では、デスクトップクライアントの概要について説明しています。

1.1 デスクトップクライアントについて

デスクトップクライアントは、ArcSuiteに登録されているドキュメントなどを操作するためのツールです。クライアントPCにインストールして操作します。

Active Directoryをインストールしているサーバー（以降「Active Directoryサーバー」と表記します）を使用している環境では、Active DirectoryサーバーからクライアントPCにデスクトップクライアントのインストーラーを配布できます。インストーラーを配布することで、デスクトップクライアントがクライアントPCに自動でインストールされます。

また、Active Directoryサーバーからデスクトップクライアントに共有設定ファイルを配布できます。配布された共有設定をそれぞれのデスクトップクライアントに適用することで、どのクライアントPCでも同じ設定でデスクトップクライアントを使用できます。

補足 セットアップ後は、Active Directory サーバーからアップデートまたは Hotfix を配布することで、クライアント PC のデスクトップクライアントを自動で更新できます。

参照 ・ Active Directory サーバー ⇒ 第 2 部 [「1 Active Directory サーバーの概要」 \(P.27\)](#)
・ 共有設定ファイルの作成 ⇒ [「5.1 共有設定ファイルの作成」 \(P.23\)](#)

デスクトップクライアントのセットアップには、環境によって次の2つの方法があります。

- ・ Active Directory サーバーを使用していない環境の場合
- ・ Active Directory サーバーを使用している環境の場合

1.1.1 Active Directory サーバーを使用していない環境の場合

Active Directoryサーバーを使用していない環境の場合、デスクトップクライアントは、インストールメディアのインストーラーを実行してインストールします。

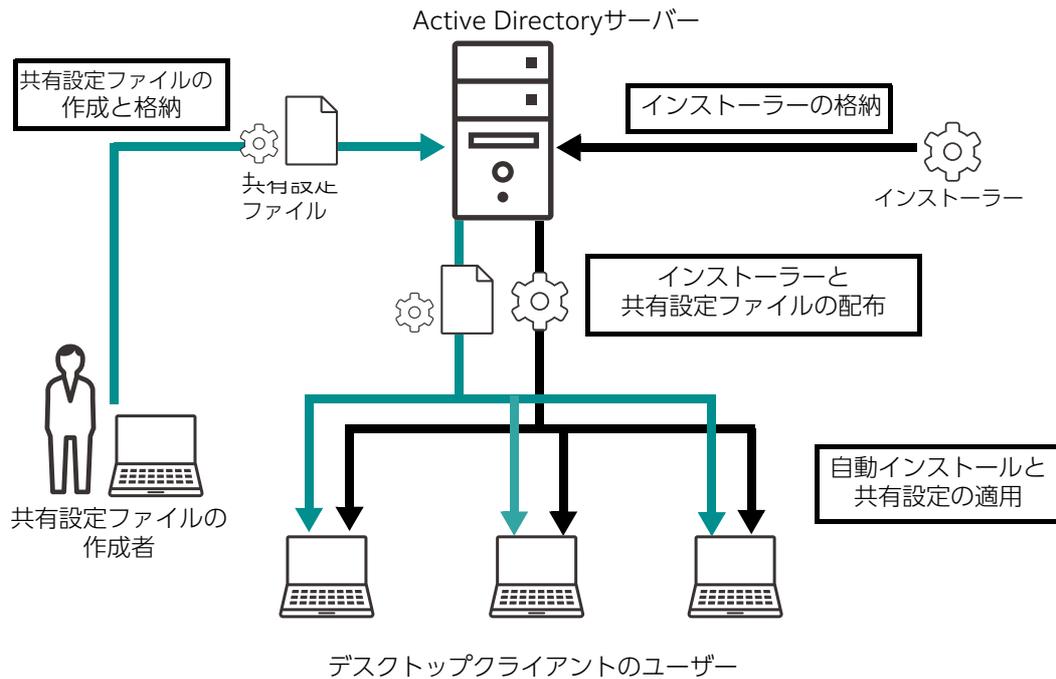
参照 Active Directory サーバーを使用していない環境でのセットアップ ⇒ [「3.1 Active Directory サーバーを使用していない環境でのセットアップの流れ」 \(P.16\)](#)

1.1.2 Active Directory サーバーを使用している環境の場合

Active Directoryサーバーを使用している環境で、デスクトップクライアントをセットアップする方法です。Active Directoryを使用することで、デスクトップクライアントのインストーラーを、複数のクライアントPCに配布できます。配布されたインストーラーによって、ユーザーがクライアントPCのOSを起動したときに、デスクトップクライアントが自動でインストールされます。

また、共有設定ファイルも、Active Directoryを使用することで、複数のクライアントPCのデスクトップクライアントに配布できます。配布された共有設定は、ユーザーがデスクトップクライアントを起動したときに適用できます。

インストーラーまたは共有設定ファイルのどちらかだけでも配布できます。



参照 Active Directory サーバーを使用している環境でのインストールの流れ ⇒ [「3.2 Active Directory サーバーを使用している環境でのセットアップの流れ」\(P.17\)](#)

2 動作環境

この章では、デスクトップクライアントを接続するサーバーについて、デスクトップクライアントをインストールするクライアントPCの動作環境について、およびインストール前の準備について説明しています。

2.1 接続先サーバー

デスクトップクライアントは、ArcSuite 4.0がインストールされているサーバーに接続できます。

注記 SSL 構成での接続時に、サーバーからクライアント認証を行う構成の場合、デスクトップクライアントは使用できません。

2.2 クライアント PC の動作環境

最新の情報については、当社公式サイトをご覧ください。

2.3 Microsoft .NET Framework 4.8 のインストール

デスクトップクライアントを正常に動作させるために、事前にMicrosoft .NET Framework 4.8をインストールする必要があります。次の手順でインストールします。

1. デスクトップクライアントをインストールする PC に、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. 「ArcSuite 4.0 インストール」 インストールメディアを、ドライブにセットします。
3. 「{インストールメディア} :%dotNetFramework%ndp48-x86-x64-allos-enu.exe」 をダブルクリックします。
[.NET Framework 4.8 セットアップ] 画面が表示されます。
4. ライセンス条項を読み、同意する場合は、[同意する] チェックボックスにチェックマークを付けます。
5. [インストール] ボタンをクリックします。
インストールが完了したら、[インストールが完了しました] 画面が表示されます。
6. [完了] ボタンをクリックします。
7. [今すぐ再起動] ボタンをクリックします。
PC が再起動します。
8. デスクトップクライアントをインストールする PC に、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
9. 「ArcSuite 4.0 インストール」 インストールメディアを、ドライブにセットします。
10. 「{インストールメディア} :%dotNetFramework%ndp48-x86-x64-allos-jpn.exe」 をダブルクリックします。
[(日本語) セットアップ] 画面が表示されます。
11. ライセンス条項を読み、同意する場合は、[同意する] チェックボックスにチェックマークを付けます。
12. [インストール] ボタンをクリックします。
インストールが完了したら、[インストールが完了しました] 画面が表示されます。
補足 プログラムを自動的に閉じるかどうかを確認する画面が表示された場合は、[はい] ボタンをクリックします。
13. [完了] ボタンをクリックします。
14. [今すぐ再起動] ボタンをクリックします。
PC が再起動します。

3 セットアップの流れ

この章では、セットアップの流れについて説明しています。

3.1 Active Directory サーバーを使用していない環境での セットアップの流れ

Active Directoryサーバーを使用していない環境では、次のような流れでクライアントPCごとにデスクトップクライアントをセットアップします。

インストールするクライアントPCの
動作環境を整える

参照 ⇒ [「2.2 クライアントPCの動作環境」\(P.13\)](#)



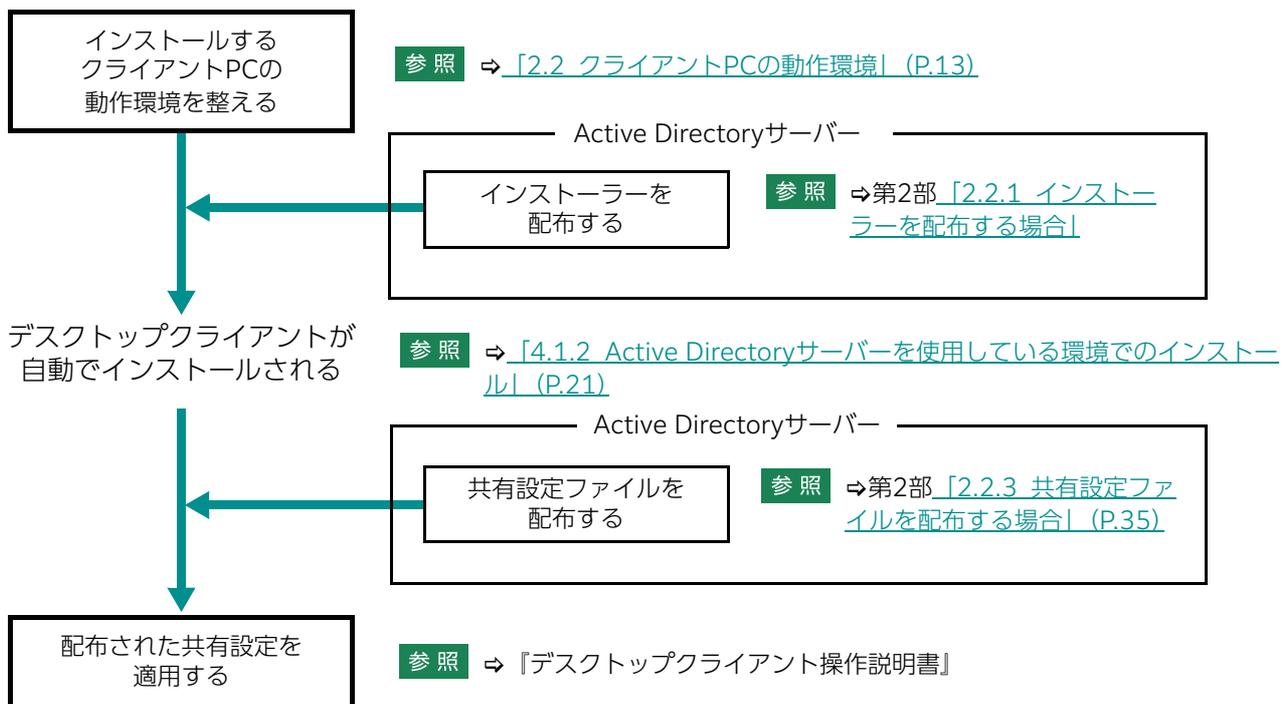
デスクトップクライアントを
インストールする

参照 ⇒ [「4.1.1 Active Directoryサーバーを使用していない環境でのインストール」\(P.19\)](#)

3.2 Active Directory サーバーを使用している環境でのセットアップの流れ

Active Directoryサーバーを使用している環境では、デスクトップクライアントのインストーラーおよび共有設定ファイルを配布できます。

Active Directoryサーバーから、インストーラーおよび共有設定ファイルが配布された場合は、次のような流れでデスクトップクライアントをセットアップします。



補足 インストーラーまたは共有設定ファイルのどちらかだけでも配布できます。

- ・ インストーラーだけが配布された場合
クライアント PC を起動したときに、自動でデスクトップクライアントがインストールされます。
- ・ 共有設定ファイルだけが配布された場合
インストールメディアのインストーラーを実行して、デスクトップクライアントをインストールします。
デスクトップクライアントを起動したときに、配布された共有設定を適用します。

参照 ・ インストールメディアのインストーラーを実行するセットアップ ⇒ [「3.1 Active Directory サーバーを使用していない環境でのセットアップの流れ」 \(P.16\)](#)

- ・ 配布された共有設定の適用 ⇒ 『デスクトップクライアント操作説明書』

4 インストール

この章では、デスクトップクライアントのインストール操作について説明しています。

4.1 デスクトップクライアントのインストール

デスクトップクライアントのインストールの方法について説明します。

- ・ Active Directory サーバーを使用していない環境でのインストール
デスクトップクライアントをインストールするクライアント PC で、インストールメディアのインストーラーを実行してインストールする方法です。
- ・ Active Directory サーバーを使用している環境でのインストール
Active Directory から配布されたインストーラーによって、クライアント PC の OS を起動したときに、デスクトップクライアントが自動的にインストールされる方法です。

4.1.1 Active Directory サーバーを使用していない環境でのインストール

Active Directoryサーバーを使用していない環境では、次の手順でデスクトップクライアントをインストールします。

補足 古いバージョンのデスクトップクライアントを使用している場合は、次のようにインストールします。

- ・ デスクトップクライアント 2.5 を使用している場合
古いバージョンのデスクトップクライアントをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールします。
- ・ デスクトップクライアント 3.0 を使用している場合
新しいバージョンのデスクトップクライアントをインストールします。古いバージョンをアンインストールする必要はありません。

1. デスクトップクライアントをインストールする PC に、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. 「ArcSuite 4.0 インストール」インストールメディアを、ドライブにセットします。
3. 次のように操作します。

注記 「setup_aseclient.exe」をダブルクリックしてから画面が表示されるまで時間がかかることがあります。画面が表示されるまで、再度ファイルをダブルクリックして起動しないでください。

◆ OS が 32 ビットの場合

- (1) 「{インストールメディア} :¥Client¥DesktopClient¥setup_aseclient.exe」をダブルクリックします。
インストーラーが起動して、「ArcSuite デスクトップクライアントのインストール」画面が表示されません。

補足 デスクトップクライアントに必要なソフトウェアのインストールを促す画面が表示されることがあります。その場合は、必要なソフトウェアをインストールしてください。

◆ OS が 64 ビットの場合

- (1) 「{インストールメディア} :¥Client¥DesktopClient¥setup_aseclient.exe」をダブルクリックします。
[インストールするモジュールを選択してください] の画面が表示されます。
- (2) インストールするモジュールを選択します。
 - ・ [32bit モジュール] ラジオボタン
PDF または DocuWorks 文書を実体画像表示またはインデックス画像で表示する場合に選択します。
 - ・ [64bit モジュール] ラジオボタン
PDF または DocuWorks 文書を実体画像表示またはインデックス画像で表示しない場合に選択します。

参照 実体画像表示、インデックス画像表示 ⇨ 『デスクトップクライアント 操作説明書』

(3) [完了] ボタンをクリックします。

インストーラーが起動して、[ArcSuite デスクトップクライアントのインストール] 画面が表示されま
す。

- 補足**
- ・次の画面が表示されるまでに、数分かかることがあります。この画面の「OK」をクリックしたあ
と、しばらくお待ちください。」というメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックしてくだ
さい。
 - ・デスクトップクライアントに必要なソフトウェアのインストールを促す画面が表示されることがあり
ます。その場合は、必要なソフトウェアをインストールしてください。

4. [次へ] ボタンをクリックします。

[使用許諾契約] 画面が表示されます。

- 補足** インストールを中断するには、[キャンセル] のある各画面で、[キャンセル] ボタンをクリックしま
す。[キャンセル] ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。確認画面で [はい] ボタンを
クリックすると、[セットアップの中断] 画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。

**5. 使用許諾契約の条項を十分に確認し、[使用許諾契約の条項に同意します] ラジオボタンを選択して [次
へ] ボタンをクリックします。**

- 補足** [使用許諾契約の条項に同意しません] ラジオボタンを選択した場合は、[次へ] ボタンをクリックで
きません。

[インストール先のフォルダ] 画面が表示されます。

6. インストール先のフォルダーを指定します。

**(1) インストール先を変更する場合は [変更] ボタンをクリックし、表示された [インストール先フォルダ
の変更] 画面でフォルダーを指定して、[OK] ボタンをクリックします。**

(2) [次へ] ボタンをクリックします。

[インストールの開始] 画面が表示されます。

- 補足** 次の場合、[次へ] ボタンをクリックすると、エラーメッセージが表示されます。その場合は、[OK]
ボタンをクリックしてインストールを中止し、必要な対処を行ってから、再度インストールを実行し
てください。
- ・インストール先に指定したドライブに、インストールに必要な空き容量がない場合
不要なファイルを削除するなどの対処を行い、空き容量を確保してから、再度インストールを実行し
てください。または、必要な空き容量のあるドライブをインストール先に指定して、インストールを
実行してください。
 - ・インストール先に指定したドライブが、ネットワークドライブまたはリムーバブルディスクだった場
合
ネットワークドライブまたはリムーバブルディスク以外のドライブにあるフォルダーをインストール
先に指定してください。

7. [インストール] ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

インストールが完了すると、[インストールの完了] 画面が表示されます。

8. [完了] ボタンをクリックします。

これでデスクトップクライアントのインストールは完了です。

- 補足** デスクトップクライアントを修復するなどの目的で、すでにインストールされているデスクトップクライ
アントに上書きインストールをする場合、[インストール先のフォルダ] 画面は表示されません。インストール
先を変更したい場合は、デスクトップクライアントをアンインストールし、再度インストールしてください。

参照 アンインストール手順 ⇨ [\[6.1 デスクトップクライアントのアンインストール\]](#) (P.26)

4.1.2 Active Directory サーバーを使用している環境でのインストール

Active Directoryサーバーを使用している環境の場合、クライアントPCにデスクトップクライアントのインストーラーを配布できます。

クライアントPCにインストーラーが配布された場合、クライアントPCのOSを起動すると、デスクトップクライアントが自動でインストールされます。

参照 インストーラーを配布するための設定 ⇨ 第2部 [「2 インストーラー・共有設定ファイルなどの配布」](#) (P.30)

5 配布するためのデスクトップクライアントの共有設定

この章では、Active Directoryサーバーから配布するための、デスクトップクライアントの共有設定について説明しています。

5.1 共有設定ファイルの作成

共有設定は、共有設定作成モードでデスクトップクライアントを起動して設定します。

設定した共有設定は、共有設定作成モードで起動したデスクトップクライアントを終了するときに、共有設定ファイル「AseClientShare.conf」として出力できます。

補足 共有設定作成モードでデスクトップクライアントを起動できるのは、Administrator 権限を持つユーザーで、デスクトップクライアントを「管理者として実行」で起動したときだけです。

共有設定として設定できるのは、次の項目です。

- ・アプリケーション設定
 - [全般] タブ
 - [MimeType] タブ
 - [コンテンツ操作] タブ
 - [セカンダリ] タブ
 - [ビューア] タブ
 - [登録振舞] タブ
- ・接続設定
- ・メニュー設定
- ・表示設定
- ・お気に入り設定
- ・検索設定

1. デスクトップクライアントがインストールされているクライアント PC に、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. デスクトップの「ArcSuite デスクトップクライアント」のアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから「管理者として実行」を選択します。
デスクトップクライアントが起動します。

補足 Windows のサインイン画面が表示された場合は、ユーザー名およびパスワードを入力します。その場合、{Windows ログオンユーザー ID} は、ここで入力したユーザー名になります。

3. 操作メニューの「ファイル」から「共有設定」>「共有設定作成モード」を選択します。
「確認」画面が表示されます。
4. [OK] ボタンをクリックします。



共有設定作成モードで、デスクトップクライアントが再起動します。

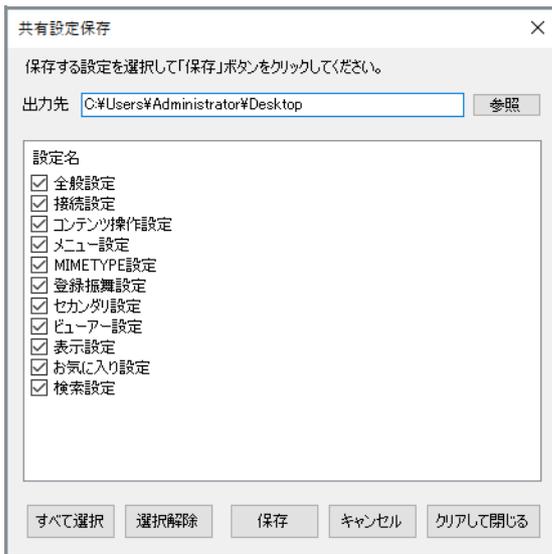
補足 共有設定作成モードで起動した場合、通常起動したときの設定ではなく、次のフォルダーにある共有設定ファイル「AseClientShare.conf」の設定で起動します。

[C:¥Users¥ {Windows ログオンユーザー ID} ¥AppData¥Local¥FUJIFILM¥ ArcSuiteEngineeringDesktopClient¥2.5.0.0¥ShareConf] フォルダー

5. 共有設定作成モードのデスクトップクライアントで、共有する設定項目を変更します。

参照 設定項目の変更方法 ⇨ 「デスクトップクライアント操作説明書」

6. [ファイル] メニューから [閉じる] を選択します。
[共有設定保存] 画面が表示されます。



7. [出力先] に、共有設定ファイルの出力先のパスを入力するか、[参照] ボタンをクリックして出力先を指定します。
8. [設定名] で、保存する設定項目のチェックボックスにチェックマークを付けます。

- 補足**
- ・ [すべて選択] ボタンをクリックすると、すべての設定項目のチェックボックスにチェックマークが付きます。
 - ・ [選択解除] ボタンをクリックすると、すべての設定項目のチェックボックスのチェックマークが外れます。

9. [保存] ボタンをクリックします。

手順 7 で指定した出力先に共有設定ファイルが出力され、デスクトップクライアントが終了します。

- 補足**
- ・ 指定した出力先以外に、次のフォルダーにも共有設定ファイル「AseClientShare.conf」が出力されます。
このフォルダーに保存される共有設定ファイルは、上書き保存されます。
[C:\Users\ {Windows ログオンユーザー ID} \AppData\Local\FUJIFILM\ArcSuiteEngineeringDesktopClient\2.5.0.0\ShareConf] フォルダー
 - ・ アプリケーション設定の [MimeType] タブで MimeType に対応するアイコンを変更している場合は、次のフォルダーにあるアイコンイメージのファイルも指定した出力先に出力されます。
[C:\Users\ {Windows ログオンユーザー ID} \AppData\Local\FUJIFILM\ArcSuiteEngineeringDesktopClient\2.5.0.0\Icon] フォルダー
 - ・ [キャンセル] ボタンをクリックすると、共有設定を保存せずに、デスクトップクライアントが終了します。
 - ・ [クリアして閉じる] ボタンをクリックすると、次の設定ファイルが削除され、デスクトップクライアントが終了します。
[C:\Users\ {Windows ログオンユーザー ID} \AppData\Local\FUJIFILM\ArcSuiteEngineeringDesktopClient\2.5.0.0\ShareConf\AseClientShare.conf]

6 アンインストール

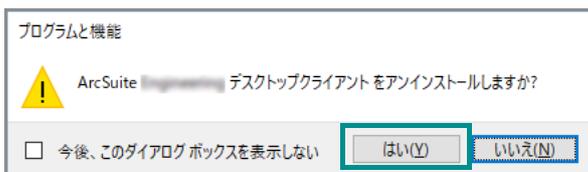
この章では、デスクトップクライアントのアンインストールの操作について説明しています。

6.1 デスクトップクライアントのアンインストール

デスクトップクライアントが不要になった場合は、デスクトップクライアントをアンインストールします。次の手順で、デスクトップクライアントをアンインストールします。

注記 Active Directory から配布されたインストーラーによって自動でインストールされたデスクトップクライアントは、アンインストールしないでください。

1. デスクトップクライアントをアンインストールするクライアント PC に、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. Windows の [スタート] メニューから [Windows システムツール] > [コントロールパネル] を選択します。
3. [プログラム] > [プログラムのアンインストール] をクリックします。
[プログラムのアンインストールまたは変更] 画面が表示されます。
補足 [プログラム] は、[コントロールパネル] 画面の [表示方法] が [カテゴリ] のときに表示されます。
4. プログラムの一覧で [ArcSuite デスクトップクライアント] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
確認画面が表示されます。
5. [はい] ボタンをクリックします。



これでデスクトップクライアントのアンインストールは終了です。

■ デスクトップクライアントのアンインストール時にアンインストールされないソフトウェア

次のソフトウェアは、デスクトップクライアントをアンインストールしても、一緒にアンインストールされません。

- ・ OS が 32 ビットの場合
Microsoft Visual C++ 2013 再頒布可能パッケージ (x86)
- ・ OS が 64 ビットの場合
Microsoft Visual C++ 2013 再頒布可能パッケージ (x86)
および Microsoft Visual C++ 2013 再頒布可能パッケージ (x64)

これらのソフトウェアをアンインストールする場合は、デスクトップクライアントのアンインストールの手順と同様に、アンインストールします。手順4で、アンインストールするソフトウェアを選択してください。

第2部 Active Directoryサーバーでの 設定

1 Active Directoryサーバーの概要

この章では、Active Directoryサーバーの概要、およびActive Directoryのグループポリシー機能を設定する流れについて説明しています。

1.1 Active Directory サーバーについて

デスクトップクライアントのインストーラー、アップデート、Hotfix、および共有設定ファイルは、Active Directoryのグループポリシー機能を使用して配布します。

デスクトップクライアントのインストーラー、アップデート、Hotfix、および共有設定ファイルを配布できる、Active DirectoryサーバーのOSについて説明します。

1.1.1 Active Directory サーバーの OS

デスクトップクライアントのインストーラー、アップデート、Hotfix、および共有設定ファイルを配布できる Active DirectoryサーバーのOSは、次のとおりです。

項目	内容
OS	<ul style="list-style-type: none">・ Windows Server 2016 日本語版・ Windows Server 2019 日本語版

1.2 設定の流れ

インストーラー、アップデート、Hotfix、または共有設定ファイルを配布するための、Active Directoryサーバーの設定の流れは、次のようになります。



参照 インストーラーを配布する場合と、アップデート、Hotfix を配布する場合とでは、グループポリシーオブジェクトの作成の操作が異なります。また、共有設定ファイルを配布する場合も異なります。

- ・ インストーラーを配布する場合 ⇒ [「2.2.1 インストーラーを配布する場合」 \(P.33\)](#)
- ・ アップデート、Hotfix を配布する場合 ⇒ [「2.2.2 アップデート、Hotfix を配布する場合」 \(P.34\)](#)
- ・ 共有設定ファイルを配布する場合 ⇒ [「2.2.3 共有設定ファイルを配布する場合」 \(P.35\)](#)

2 インストーラー・共有設定ファイルなどの配布

この章では、デスクトップクライアントのインストーラー、アップデート、Hotfix、および共有設定ファイルを配布するための、Active Directoryのグループポリシー機能の設定について説明しています。

2.1 事前準備

Active Directoryサーバーに共有フォルダーを作成し、配布するデスクトップクライアントのインストーラー、アップデート、Hotfix、または共有設定ファイルを格納します。

配布するファイルの入手先

インストーラー、アップデート、Hotfix、または共有設定ファイルの入手先は、次のとおりです。

◆ 配布するインストーラー

配布するためのインストーラーは、「ArcSuite 4.0 インストール」インストールメディアの次の場所にあります。

OS		インストーラーの場所
日本語	32ビット	{インストールメディア} :%Client%DesktopClient%msi%32bit% setup_aseclient_ja_x86.msi
	64ビット	{インストールメディア} :%Client%DesktopClient%msi%64bit% %setup_aseclient_ja_x64.msi
英語	32ビット	{インストールメディア} :%Client%DesktopClient%msi%32bit% setup_aseclient_en_x86.msi
	64ビット	{インストールメディア} :%Client%DesktopClient%msi%64bit% setup_aseclient_en_x64.msi

◆ 配布するアップデート、Hotfix

購入ユーザー専用ページまたはサポート契約ユーザー専用ページにログインしたあと、アップデートまたはHotfixをダウンロードしてください。

◆ 配布する共有設定ファイル

配布するための共有設定ファイルは、デスクトップクライアントで作成した「AseClientShare.conf」ファイルです。

参照 共有設定ファイルの作成 ⇒ 第1部 [\[5.1 共有設定ファイルの作成\]](#) (P.23)

◆ サーバーに格納する Active Directory 管理テンプレート

Active Directory 管理テンプレートは、グループポリシー管理エディターの左側のツリーに階層を表示するためのファイルです。デスクトップクライアントでは、Active Directory 管理テンプレートで、ユーザーに次の操作を禁止するための設定をします。

- ・ ログインするときにパスワードを記憶する

事前に、「ArcSuite 4.0 インストール」インストールメディアにある次の3つのファイルを、Active Directoryサーバーの格納先にコピーします。

補足 コピーするときは、Active Directory サーバーに、Administrator 権限を持つユーザーでサインインしてください。

種類	ファイルの場所	Active Directoryサーバーの格納先
管理テンプレート	{インストールメディア} :%Client% DesktopClient%admx%aseclient.admx	C:%Windows%PolicyDefinitions
英語用のリソース ファイル	{インストールメディア} :%Client% DesktopClient%admx%en-US% aseclient.adml	C:%Windows%PolicyDefinitions%e n-US

種類	ファイルの場所	Active Directoryサーバーの格納先
日本語用のリソースファイル	{インストールメディア} :%Client% DesktopClient%adm%ja-JP% aseclient.adml	C:%Windows%PolicyDefinitions% ja-JP

共有フォルダーの作成

Active Directoryサーバーに共有フォルダーを作成し、配布するファイルを格納します。
ここでは、Windows Server 2016またはWindows Server 2019での手順を例に説明します。

1. Active Directory サーバーに、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. 任意の場所にフォルダーを作成します。
3. 手順 2 で作成したフォルダーを右クリックし、ショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。
共有フォルダーのプロパティ画面が表示されます。
4. [共有] タブをクリックします。
5. [詳細な共有] の [詳細な共有] ボタンをクリックします。
[詳細な共有] 画面が表示されます。
6. [このフォルダーを共有する] チェックボックスにチェックマークを付けて、[アクセス許可] ボタンをクリックします。
7. [追加] ボタンをクリックして、次のようにグループを追加して [アクセス許可] を設定します。

設定するグループ	アクセス許可
Administrator	[フルコントロール] の [許可] にチェックマークを付けます。
Administrators	[変更] および [読み取り] の [許可] にチェックマークを付けます。
Authenticated Users	[読み取り] の [許可] にチェックマークを付けます。
Domain Admins	[読み取り] の [許可] にチェックマークを付けます。
Domain Users	[読み取り] の [許可] にチェックマークを付けます。
SYSTEM	[読み取り] の [許可] にチェックマークを付けます。

8. [OK] ボタンをクリックします。
9. [詳細な共有] 画面で、[OK] ボタンをクリックします。
共有フォルダーに設定されます。
10. 共有フォルダーのプロパティ画面で、[閉じる] ボタンをクリックします。
11. 手順 2 で作成して、共有フォルダーに設定したフォルダーに、配布するデスクトップクライアントのインストーラー、アップデート、Hotfix、または共有設定ファイルを格納します。

- 補足**
- ・ 同じ名前のファイルが存在していた場合、登録する msi ファイルのファイル名を変更して格納してください。共有設定ファイルは、ファイル名を変更せずに格納してください。
 - ・ アップデートまたは Hotfix のファイルを格納する場合、すでにインストーラーの msi ファイルが格納されているため、アップデートまたは Hotfix の msi ファイルのファイル名を変更してから格納してください。

2.2 グループポリシーオブジェクトの作成、編集

インストーラー、アップデート、Hotfix、および共有設定ファイルを配布するための、グループポリシーオブジェクトの作成について説明します。

2.2.1 インストーラーを配布する場合

クライアントPCのOSが起動したときに、デスクトップクライアントが自動でインストールされるように、グループポリシーオブジェクトを作成します。

配布するインストーラーは、[\[2.1 事前準備\] \(P.31\)](#) で作成した共有フォルダーに、事前に格納しておきます。

ここでは、Windows Server 2012またはWindows Server 2012 R2での手順を例に説明します。

1. Active Directory サーバーに、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. Windows のスタート画面で、[サーバーマネージャー] をクリックします。
[サーバーマネージャー] 画面が表示されます。
3. [ツール] メニューから [グループポリシーの管理] を選択します。
[グループポリシーの管理] 画面が表示されます。
4. 左側のツリーで、[グループポリシーの管理] > [フォレスト：{ドメイン名}] > [ドメイン] > [{ドメイン名}] > [グループポリシーオブジェクト] を選択します。
5. [グループポリシーオブジェクト] の一覧で、[内容] タブをクリックします。
6. [操作] メニューから [新規] を選択します。
[新しい GPO] 画面が表示されます。
7. [名前] にグループポリシーオブジェクトの名前を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
[グループポリシーオブジェクト] の一覧に、作成したグループポリシーオブジェクトが表示されます。
8. 作成したグループポリシーオブジェクトを右クリックし、ショートカットメニューから [編集] をクリックします。
[グループポリシー管理エディター] 画面が表示されます。
9. [グループポリシー管理エディター] 画面の左側のツリーで、[コンピュータの構成] > [ポリシー] > [ソフトウェアの設定] > [ソフトウェアインストール] を選択します。
10. [操作] メニューから [新規作成] > [パッケージ] を選択します。
[開く] 画面が表示されます。
11. [\[2.1 事前準備\] \(P.31\)](#) で共有フォルダーに格納したデスクトップクライアントのインストーラーを選択し、[開く] ボタンをクリックします。
[ソフトウェアの展開] 画面が表示されます。
注記 選択するインストーラーは、ネットワークパスであることが必要です。
たとえば、「adserver.example.com」というサーバーの「C:¥Share」フォルダーに、「setup_aseclient_ja_x86.msi」ファイルを格納した場合は、次のようになります。
「¥¥adserver.example.com¥Share¥setup_aseclient_ja_x86.msi」
12. [詳細設定] ラジオボタンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
[ArcSuite デスクトップクライアントのプロパティ] 画面が表示されます。
13. [展開] タブをクリックします。

14. [管理の対象でなくなったときは、このアプリケーションをアンインストールする] チェックボックスにチェックマークを付け、[詳細設定] ボタンをクリックします。
[詳細展開オプション] 画面が表示されます。
15. [詳細展開オプション] の [このパッケージを展開するときは言語を無視する] チェックボックスにチェックマークを付け、[OK] ボタンをクリックします。
[詳細展開オプション] 画面が閉じ、[ArcSuite デスクトップクライアントのプロパティ] 画面に戻ります。
16. [OK] ボタンをクリックします。
[ArcSuite デスクトップクライアントのプロパティ] 画面が閉じます。

2.2.2 アップデート、Hotfix を配布する場合

アップデートまたはHotfixは、デスクトップクライアントに適用する修正プログラムです。

クライアントPCのOSが起動したときに、デスクトップクライアントの修正プログラムが自動で適用されるように、グループポリシーオブジェクトを作成します。

配布するアップデートまたはHotfixは、[\[2.1 事前準備\] \(P.31\)](#) で作成した共有フォルダーに、事前に格納します。このとき、すでに同じ名前のファイルが存在しているため、登録するmsiファイルのファイル名を変更してから格納してください。

注記 アップデートまたは Hotfix を配布することで修正プログラムを適用できるのは、Active Directory から配布されたインストーラーによってインストールされたデスクトップクライアントだけです。インストールメディアのインストーラーを実行してインストールしたデスクトップクライアントには適用できません。

補足 インストーラーを配付するグループポリシーオブジェクトと、アップデートまたは Hotfix を配布するグループポリシーオブジェクトを、1つのグループポリシーオブジェクトで設定することもできます。その場合は、[\[2.2.1 インストーラーを配布する場合\] \(P.33\)](#) の手順でグループポリシーオブジェクトを作成したあと、ここでの手順 13 から実施して [アップグレード] タブを設定します。
共有フォルダーには、インストーラーの msi ファイルが格納されているため、アップデートまたは Hotfix の msi ファイルのファイル名を変更してから格納してください。

ここでは、Windows Server 2012またはWindows Server 2012 R2での手順を例に説明します。

1. Active Directory サーバーに、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. Windows のスタート画面で、[サーバーマネージャー] をクリックします。
[サーバーマネージャー] 画面が表示されます。
3. [ツール] メニューから [グループポリシーの管理] を選択します。
[グループポリシーの管理] 画面が表示されます。
4. 左側のツリーで、[グループポリシーの管理] > [フォレスト：{ドメイン名}] > [ドメイン] > [{ドメイン名}] > [グループポリシーオブジェクト] を選択します。
5. [グループポリシーオブジェクト] の一覧で、[内容] タブをクリックします。
6. [グループポリシーオブジェクト] の一覧で、対象となるグループポリシーオブジェクトを右クリックし、ショートカットメニューから [編集] をクリックします。
[グループポリシー管理エディター] 画面が表示されます。
7. [グループポリシー管理エディター] 画面の左側のツリーで、[コンピュータの構成] > [ポリシー] > [ソフトウェアの設定] > [ソフトウェアインストール] を選択します。
8. [操作] メニューから [新規作成] > [パッケージ] を選択します。
[開く] 画面が表示されます。

9. [\[2.1 事前準備\] \(P.31\)](#) で作成した共有フォルダーに、事前に格納したアップデートまたは Hotfix を選択し、[開く] ボタンをクリックします。
[ソフトウェアの展開] 画面が表示されます。

注記 選択するインストーラーは、ネットワークパスであることが必要です。
たとえば、「adserver.example.com」というサーバーの「C:¥Share」フォルダーに、「setup_aseclient_ja_x86.msi」ファイルを格納した場合は、次のようになります。
「¥¥adserver.example.com¥Share¥setup_aseclient_ja_x86.msi」

10. [詳細設定] ラジオボタンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
[ArcSuite デスクトップクライアント ({n}) のプロパティ] 画面が表示されます。

補足 {n} には、作成したパッケージの順番が連番で表示されます。

11. [展開] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。
[詳細展開オプション] 画面が表示されます。

12. [詳細展開オプション] の [このパッケージを展開するときは言語を無視する] チェックボックスにチェックマークを付け、[OK] ボタンをクリックします。
[詳細展開オプション] 画面が閉じ、[ArcSuite デスクトップクライアント ({n}) のプロパティ] 画面に戻ります。

13. [アップグレード] タブをクリックします。

14. [追加] ボタンをクリックします。
[アップグレードパッケージの追加] 画面が表示されます。

15. [アップグレードするパッケージ] の一覧から、アップグレードする対象のパッケージを選択します。

16. [パッケージは、既存のパッケージをアップグレードできる] ラジオボタンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

17. [OK] ボタンをクリックします。
[ArcSuite デスクトップクライアント ({n}) のプロパティ] 画面が閉じます。

2.2.3 共有設定ファイルを配布する場合

デスクトップクライアントの共有設定ファイルを配布するための、グループポリシーオブジェクトを作成します。

配布する共有設定ファイルは、[\[2.1 事前準備\] \(P.31\)](#) で作成した共有フォルダーに、事前に格納しておきます。

ここでは、Windows Server 2012またはWindows Server 2012 R2での手順を例に説明します。

1. Active Directory サーバーに、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. 次のように操作します。
3. Windows のスタート画面で、[サーバーマネージャー] をクリックします。
[サーバーマネージャー] 画面が表示されます。
4. [ツール] メニューから [グループポリシーの管理] を選択します。
[グループポリシーの管理] 画面が表示されます。
5. 左側のツリーで、[グループポリシーの管理] > [フォレスト： {ドメイン名}] > [ドメイン] > [{ドメイン名}] > [グループポリシーオブジェクト] を選択します。
6. [グループポリシーオブジェクト] の一覧で、[内容] タブをクリックします。

7. 次のように操作します。

◆ 初めて共有設定ファイルを配布する場合

- (1) [グループポリシーオブジェクト] の一覧で右クリックし、ショートカットメニューから [新規] を選択します。
[新しい GPO] 画面が表示されます。
- (2) [名前] に、グループポリシーオブジェクトの名前を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
[グループポリシーオブジェクト] の一覧に、作成したグループポリシーオブジェクトが表示されます。
- (3) 作成したグループポリシーオブジェクトを右クリックし、ショートカットメニューから [編集] を選択します。
[グループポリシー管理エディター] 画面が表示されます。

◆ 共有設定ファイルを配布したことがある場合

- (1) 対象となるグループポリシーオブジェクトを右クリックし、ショートカットメニューから [編集] を選択します。
[グループポリシー管理エディター] 画面が表示されます。

8. 左側のツリーで、[ユーザーの構成] > [基本設定] > [Windows の設定] > [ファイル] を選択します。

9. [操作] メニューから [新規作成] > [ファイル] を選択します。 [新しいファイルのプロパティ] 画面が表示されます。

10. [全般] タブの [ソースファイル] に、共有フォルダーに格納した共有設定ファイル [AseClientShare.conf] のパスを入力します。

注記 入力する共有設定ファイルは、ネットワークパスであることが必要です。
たとえば、「adserver.example.com」というサーバーの「C:¥Share」フォルダーに、「AseClientShare.conf」ファイルを格納した場合は、次のようになります。
[¥¥adserver.example.com¥Share¥AseClientShare.conf]

11. [ターゲットファイル] に、次のパスを入力します。 [%LocalAppData%¥FUJIFILM¥ArcSuiteEngineeringDesktopClient¥2.5.0.0¥ShareConf¥AseClientShare.conf]

補足 [%LocalAppData%] と入力すると、配布するすべてのユーザーの「AppData」フォルダーを指定できます。

12. [OK] ボタンをクリックします。

2.2.4 禁止操作を配布する場合

デスクトップクライアントで、ユーザーに次の操作を禁止する設定を配布するための、グループポリシーオブジェクトを作成します。

- ・ログインするときにパスワードを記録する

配布する Active Directory 管理テンプレートは、[\[2.1 事前準備\] \(P.31\)](#) で、事前にインストールメディアから Active Directory サーバーの指定されたフォルダーに格納しておきます。

ここでは、Windows Server 2012 または Windows Server 2012 R2 での手順を例に説明します。

1. Active Directory サーバーに、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. Windows のスタート画面で、[サーバーマネージャー] をクリックします。
[サーバーマネージャー] 画面が表示されます。

3. [ツール] メニューから [グループポリシーの管理] を選択します。
[グループポリシーの管理] 画面が表示されます。
4. 左側のツリーで、[グループポリシーの管理] > [フォレスト：{ドメイン名}] > [ドメイン] > [{ドメイン名}] > [グループポリシーオブジェクト] を選択します。
5. [グループポリシーオブジェクト] の一覧で、[内容] タブをクリックします。
6. [操作] メニューから [新規] を選択します。
[新しい GPO] 画面が表示されます。
7. [名前] にグループポリシーオブジェクトの名前を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
[グループポリシーオブジェクト] の一覧に、作成したグループポリシーオブジェクトが表示されます。
8. 作成したグループポリシーオブジェクトを右クリックし、ショートカットメニューから [編集] をクリックします。
[グループポリシー管理エディター] 画面が表示されます。
9. 左側のツリーで、[ユーザーの構成] > [管理用テンプレート] > [FUJIFILM] > [ArcSuite] > [デスクトップクライアント] > [禁止操作] を選択します。
10. [パスワードの記憶の禁止] を右クリックし、ショートカットメニューから [編集] を選択します。
[パスワードの記憶の禁止] 画面が表示されます。
11. パスワードを記憶しない設定にするために [有効] をクリックし、[OK] ボタンをクリックします。
補足 [未構成] または [無効] の場合、パスワードを記憶できる設定になり、デスクトップクライアントを使用するユーザーはパスワードの入力を省略できます。
12. [グループポリシー管理エディター] を閉じます。

2.3 グループポリシーオブジェクトのドメインへのリンク

配布対象のドメインに、作成したグループポリシーオブジェクトをリンクさせて、配布の準備を完了させます。

ここでは、Windows Server 2012またはWindows Server 2012 R2での手順を例に説明します。

1. Active Directory サーバーに、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. Windows のスタート画面で、[サーバーマネージャー] をクリックします。
[サーバーマネージャー] 画面が表示されます。
3. [ツール] メニューから [グループポリシーの管理] を選択します。
[グループポリシーの管理] 画面が表示されます。
4. 左側のツリーで、[グループポリシーの管理] > [フォレスト：{ドメイン名}] > [ドメイン] の下から、作成したグループポリシーオブジェクトをリンクさせるドメインを選択します。
5. 選択したドメインを右クリックし、ショートカットメニューから [既存の GPO のリンク] を選択します。
[GPO の選択] 画面が表示されます。
6. [グループポリシーオブジェクト] の一覧から、作成したグループポリシーオブジェクトを選択します。
7. [OK] ボタンをクリックします。
8. [グループポリシーの管理] 画面の左側のツリーでリンクさせたドメインを選択し、右側の [リンクされたグループポリシーオブジェクト] タブの一覧に、グループポリシーオブジェクトが追加されていることを確認します。